荒尾市民病院
- Arao Municipal Hospital -
地域医療連携だより

小岱

市民を愛する　市民に愛される　病院へ

第27号（平成26年4月発行）

〒864-0041　熊本県荒尾市荒尾2600
荒尾市民病院　相談支援センター　地域医療連携室
TEL　0968-63-1115（代表）（内線536）
FAX　0968-62-4543
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　www.hospital.arao.kumamoto.jp/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　bsn@hospital.arao.kumamoto.jp

新任医師の紹介

安中　正法（やすなか　まさのり）リハビリテーション科部長

末田　大輔（すえた　だいすけ）循環器内科医長

藤江　康行（ふじえ　やすゆき）腎臓内科医師

新任医師の紹介

岩田　康伸（いわた　やすのぶ）腎臓内科医師

田畑　輝海（たばた　てるみ）臨床研修医

米村　光信（よねむら　みつのぶ）臨床研修医

医師退職者

リハビリテーション科部長	二山　勝也	
循環器内科医長	榎本　耕治	
腎臓内科医師	吉村　仁宏	大変お世話になりました

《病院理念》

荒尾市民病院は地域住民の健康の維持増進に努め、患者中心の安全で質の高い医療の提供を目指します。

《基本方針》

1. 地域の信頼に応える急性期医療を目指し、最善の医療を提供します。
2. 地域連携を進め、地域完結型医療を目指します。
3. 患者の人権を尊重し、温かい心を持った医療人を育成します。
4. 効率的な経営管理を基本とし、健全な経営を目指します

《患者様の権利》

・あなたは、あなたの病気について必要な医療を受けることができます。
・あなたは、医療の内容について十分な説明を受け、十分な納得と同意の上で適切な医療を選択することができます。
・あなたは、医療の内容についてご自分の希望を申し出る事ができます。

第16回地域医療連携懇親会のご案内

例年多数のご参加をいただいております本院春の恒例行事、
「地域医療連携懇親会」の季節がやってまいりました。
連携機関の皆様との情報交換、近況報告の場にご利用ください。
皆様お誘い合わせのうえご参加いただき、この頃お顔を合わせて
いないあの方と色々な話に花を咲かせていただきたいと思います。
お忙しい季節とは思いますが、よろしくお願いいたします。

開催日　　平成26年5月9日（金）
受付開始　　18時30分～
開始時刻　　19時00分～
場所　　ホテル　ヴェルデ
　　荒尾市本井手1558　　☏　0968-66-3939

平成26年度診療報酬改定について

今改定において新たに導入された在宅復帰要件について

- 7対1病棟における自宅などへの退院割合「75%以上」の導入
- 地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）1への在宅復帰率「70%以上」の導入
- 療養病棟入院基本料1への在宅復帰機能強化加算「50%以上」の導入

従来、亜急性期と回復期の病床等にしかなかった在宅復帰機能を上記のように求められることとなりました。

国の方針が在宅へと向かっている表れでしょうか。

今後、ますます多職種間の連携を強化することが重要になると思われます。

本院もその一翼を担うため連携強化を図ってまいりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

相談支援センター職員往来

相談支援センター人事異動報告（3月31日・4月1日付）

退職　・村上裕子
異動（転出）・宮川剛
異動（転入）・山下幸恵
新規採用　・渡邉弘隆
・堀江宏美

新　任　者　あ　い　さ　つ

山下幸恵（相談支援センター　医療福祉相談室長、看護師）
4月より新しく配属になりました山下です。
3月までは病棟勤務でしたので、毎日新鮮な経験をさせていただいています。
相談支援センターのメンバーと一緒に退院支援がスムーズに行えるよう頑張っていきたいと思います、よろしくお願いいたします。

渡邉弘隆（相談支援センター参事、社会福祉士）
皆さんこんにちは。4月より荒尾市民病院の相談支援センターに配属になりました、社会福祉士の渡邉です。以前勤めていた病院では15年間ソーシャルワーカーをしていました。その経験を荒尾市民病院でも活かしていきます、よろしくお願いします。

堀江宏美（社会福祉士）
初めまして、相談支援センターに新しく配属されました堀江宏美と申します。
この春、大学を卒業して社会人になりました。大学で福祉を勉強してきたとはいえ、知識も経験もまだまだです。ご迷惑をおかけするかも知れませんが、たくさん努力して笑顔を絶やさない社会福祉士を目指していきます、よろしくお願いいたします。

開放型病床利用のご案内

かかりつけ医の先生と当院の医師とが協力して、継続的に高度な医療、検査、手術などを受けていただけるよう開放型病床を10床準備しています。退院後も引き続きかかりつけ医の先生に病状を診ていただけるので、患者さんは安心して最善の治療を受けることができます。

開放型病床の利用は、有明地域医療連携ネットワークに加盟している医療機関の医師または事前に登録医として申請が必要です。

利用の際は、診療情報提供書に“開放型病床利用希望”と記載して下さい。

詳細については、お気軽に相談支援センターにお問い合わせください。

編集後記

桜の花も散り、新緑がまぶしい季節となりました。皆様の職場にも真新しいスーツや制服に身を包んだ新人の方が毎日頑張っておられると思います。

当院にも多数の新規採用者が入職されました。

この方々が今後の地域医療を担う若い力となるよう、より良い地域医療連携を目指してまいりますので、今後ともご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

相談支援センター　上田